広報まき

1966年9月10日
第12号
発行　新潟県巻町役場
電話 代表 (2) 3131
編集　企画調査課

住民登録人口
（昭和41年8月31日現在）
総人口　27,833人
男 13,381人　女 14,452人
世帯数　5,895

全国高校体育大会

受入準備進む

四十二年（ホッケー）開催決まる

スポーツは人間だけがもつ文化の一つである。これをより高くより美しいものにするには、スポーツを行なうものの精神とそれをとりまく環境の清らかなことが必要である。美しいスポーツマンシップは、このような世界の中で生れ、やがて生活を導く基として社会のために貢献するであろう。

故にスポーツマンは競技場にあるとおなじ精神と態度で生活し、りっぱな社会人でなければならない……スポーツマン調査の一節である。

私達は二年前、国民体育大会の開催にあたって、一つの栄光の座をかけて熱戦を繰り広げた。あのアマチュア、スポーツ精神にあふれた清々しいふんい気、高まる感激を忘れることができません。それは新潟県民あげての国体をなしとげたことの安らぎと、かつて東京都以外が果せなかった総合優勝獲得のよろこびによって……

今度、全国高等学校総合体育大会男子第三十回、女子第九回全国高等学校ホッケー選手権大会が全国高校体育連盟、新潟県、巻町等の主催、文部省、NHKの後援で昭和四十二年八月一日から五日間にわたって、巻町において開催されることになりました。

全国高等学校総合体育大会は青少年の身心を鍛練しその活動力を高めるとともに、わが国の将来をになう青少年が日々の学業に励むかたわらスポーツに精進することによって、あらゆる困難をのりこえていくことのできるたくましい体力と充実した気力を養い、また一方には公正な精神と美しい友情を育てていくことなどを目的に高校の体育行事として最高のものとして年々各地で開催され大きな成果をあげていることはすでにご承知のとおりです。

今年度（昭和四十一年）はすでに青森県を中心に岩手、秋田、宮城の東北四県で開催され、巻町内県立高校からもホッケー、テニス、ハンドボール、レスリング、陸上と五十余名が参加しました。

ホッケー競技の行なわれた青森県三沢市は人口四万、米軍基地として知られています。ホッケー競技に参加した高校は四十六ケ校、四会場、五日間（八月一日から五日まで）にわたって競技が行なわれ選手、役員は実に八百余名といわれています。連日熱のこもった競技が展開され男子は岐阜西工業高校と札幌商業高校の間で決勝戦が行なわれたが延長の末、同点優勝となり第三位は横浜商業高校でした。

女子は岐阜女子高校が森高校（大分県）をやぶって優勝しています。

町の高校はいづれも善戦の末一回戦で涙をのんだが、特に巻工業高校はこの大会三位となった横浜商業高校（昨年度優勝校）と対戦2－1で惜敗し、また巻高校女子も四十二年度国体ホッケー会場となる飯能高校（埼玉県）と対戦、延長の末2－1で敗れるなど今一歩の力不足が目だちます。

この大会の受け入れにあたった事務局では、参加選手が日頃の技術を遺憾なく発揮できるような、ふんい気と環境づくりに全力をあげたといわれるだけに隨所に町を明るくする運動、優しく安全な町の運動が徹底して好感がもたれたと聞きます。

この大会が巻町に決定すると同時に巻町役場、巻工業高校と一体的に具体的に受け入れのための対策について検討が加えられてきましたが、去る六月十六日第一回目の準備会が開催されて、その全貌が明らかとなり、大会準備委員会の結成、大会事務局の設置など急速にその準備がすすめられています。

この大会のシンボルである大会旗は競技は力であり、進歩は技の練磨にまつ。しかし競技者はこれをつつむに明朗な精神をもってせねばならないとし、力、技、明朗な精神を真紅の三つのKで組合せでできています。真紅は高い理想と希望に燃える若人の情熱を示しているといわれます。

昭和四十二年度のこの大会は地理的条件からいって、少なくとも五十チームの参加が予想され、おそらく一、〇〇〇人の選手、役員がこの町にやってくると考えられます。主会場（福井県）には阜太子殿下もご臨席の上、おことばを賜るならわしとなっています。

大会を円滑に運営するために事務局では総務部、財務部、競技部、施設部、宿泊部、広報部、衛生部、輸送受付接待部、式典部、警備部といった仕事が多数の人々によって有機的に行なわれることになります。そしてこれを機会に蚊、はえ、ねずみ等を撲滅する運動や食生活を改善する運動、青少年の不良化を防止する対策等の運動が考えられますし、又、スポーツの振興についても、ひとりホッケー競技だけでなく体育全般の底辺を高める機会として、その重要性があるわけです。

大会を盛大に且つ意義あるものとするためには立派な強い選手を「みんなの手で育てる」という心構えが必要になってくると思います。それがためには、これらをとりまく清らかな美しい環境が必要であり、そのため私達ひとりひとりが生活環境を特に清潔に美しくすることが大切であろうかと思います。また数多い役員選手をあたたかい友情で迎えるとともに、ひとりひとりの中で社会性を養成していきたいものです。

これらのねらいを実現するためには「まちをきれいにする」「他県の選手役員に親切にする」「交通道徳を守る」等々、学校をはじめ教育団体、婦人会、青少年団体、農業団体等あらゆる組織や機関の方々の全面的なご協力によって、この運動を強く広く展開して意義あるこの大会を成功させたいものであります。

大会マーク

競技は力であり、進歩は技の練磨にまつ、しかし競技者はこれをつつむに明朗な精神をもってせねばならない。このマークを構成している三つのKはこれを意味している。

KRAFT　力
KUNST　技
KLARHEIT　明朗な精神

そして真紅の色彩は高い理想と、希望に燃える若人の熱情を示すものである。

海の観光総決算

昨年より下廻った人出

巻町観光の中心である海のシーズンは暮を閉じました。

天候は決して恵れたとは言えなかった。七月に入っても当分の間は低温がつづき、中旬の集中豪雨七月末から八月初旬にかけての異常低温と風雨にたたられ、観光業者にとって折角のゴールデンウィーク（二十九日丑の日、三十、三十一日が土、日曜、それに一日盆）も逸した感がありました。

最盛期ともいうべき七月二十日から八月二十日までの一ケ月間の晴雨日数は、晴十六日、曇十二日雨四日で、本格的炎暑を感じはじめたのは八月七日以降でありました。

人出数については、その見方はさまざまでありますが、昨年の人出を五十万人とふんで、約一五%下まわった約四十二、三万人と推定されます。（協会の報告では約三十七万人）

観光事業にめだった特徴をみえだせないが、新潟、白根、加茂、見附方面の人が、交通路線の関係から絶対多数を占めていたことは従来と変らない。だが、悪天候のため、遠来の観光客の足を鈍らせ中んづく新潟周辺の関密地帯の観光客が、近くの新潟海岸におちついたものと推測されます。（新潟海水浴場は六%増と報ぜられている）。

県外客として、従来縁故関係以外なかったものが、北関東の群馬栃木方面からの若いキャンパーが百数十人、角田浜、小浜キャンプ場に入ったのがわづかに目立ったといえます。

交通事情としては、国鉄、バスの値上げの影響もあり、又、マイカー族が年々増えていることはどこでも同じこと、出盛りの数日を除けば、バス利用者が伸びなやんだ。六千ヘーベの県下一の角田浜駐車場建設工事がシーズン中にかかったため、ラッシュ時における交通整理が混乱しがちでありました。途中道路の改修工事は、昨年と比較すれば長足の進歩であったが、観光客からみればまだまだ不満は大きいようでありました。

特筆すべきことはシーズン中一人の水死事故もなかったことであります。監視のいき届く、比較的まとまりの良い他の海水浴場とちがい全長五粁以上にも及ぶ海岸線では監視も散漫になり易い。しかし巻町の海から機略者を出さないため、監視員の配置や救護態勢に万全の処置をとるべく、関係者と検討を続けることになっています。

防犯対策として角田浜では水銀灯の新設、普通街灯の増設によって夜の海水浴場も隨分と明るくなり、バカンス地帯につきものの暴力沙汰も極微なもの数件で終ったことも、併せてよろこばしいことであります。

環境美化、接客マナー等については、観光客の要望にもっと応えてやらねばなるまいと思います。日赤救護所で治療を受けた三百余名の中、破損した硝のかけらなどで切傷した者が六十%もあったと報告されています。豊栄町方面の水害地から来た海水浴客に、席料をとらずにサービスしたという浦浜の業者の美徳は大いにたたえられていよいであろう。

本年度の観光施設建設事業である角田浜駐車場、展望休憩所、越前浜公衆便所、浦浜公衆便所、浦浜～小浜遊歩道路が、未完成、あるいは未着工のままシーズンを終えてしまったが、これらが完成すれば、県道竹野町地点及び布目地点のバイパス道路の完成と併せ、来年度更に明るい期待ができます。

結論として、現実にシーズン中一日平均一万余人の観光客を誘致する一大海水浴場であり、その立地条件からますます発展の可能性をもっていることを思うとき、観光事業の主体者である協会各位の自主性、協力性に期待するとともに、ともどもに観光開発に努力していかなければならないと思います。

なおシーズン中ご指導、ご尽力をいただいた巻警察署、保健所、国鉄その他交通業者、報道機関等に対し厚くお礼申し上げます。

巻工高大分国体へ出場

役場は関東・東北ブロック大会

第二十一回大分国体ホッケー競技県予選が八月二十八日（日）巻工高グランドで、きびしい暑さのなかで六チームが参加して熱戦がくりひろげられました。

試合で勝利をおさめた柏商高、巻工高、巻町役場の三チームはブロック大会の出場権を得て、大分国体出場最後の関門にいどむことになっています。

当日の試合結果は次のとおりです。

▲一般女子決勝

柏商高 2（1－0、1－0）0 巻高

▲高校男子決勝

巻工高 4（0－1、0－0、0－0 延長、3－0）1 巻高

柏商高、巻工高は富山県小矢部市で開かれる東北、北陸ブロック大会に出場。

▲一般男子決勝

巻町役場 3（2－1、1－0）1 化成直江津

巻町役場は東京で開かれる関東東北ブロック大会に出場。

巻工高ブロック大会で優勝

巻工業高校は九月四日から二日間富山県小矢部市で開かれた東北北陸ブロック大会に出場。一回戦に秋田県船川水産高校を5－0で破り決勝に進出、福井県丹生高校と国体出場権をかけて、接戦を繰り広げた結果3－1で丹生高校を破り優勝。第二十一回大分国体への出場権を獲得しました。巻工業高校は新潟国体についての国体出場は二度目。大分国体で活躍が期待されます。

年金が老後の保障、夫婦で月1万円

国民年金法の改正

来年一月から実施

国民年金法が改正になりました。その改正された内容のあらましについて、みなさんにお知らせします。

国民年金制度を実施してから、ことしで六年目を迎えました。この制度ができたのは、会社や官公庁に勤めている人は、厚生年金や恩給等で保障されているが、勤めに以外の人々には保障制度がなにもありませんでした。しかし、日本国民である以上「老後の生活安定のために保障を受ける権利は、みな同じである。」ということから農業、漁業、商業をしている人のために生まれたのが国民年金制度です。

国民年金の給付は被保険者が納めた保険料と、その額の半額に相当する国庫負担金とを合せて積立てておき、その中から支払われることになっています。

この国民年金には①どうしても加入しなければならない人（強制被保険者）②加入することが自由な人（任意加入被保険者）の二通りがあります。

◎強制被保険者

どうしても加入しなければならない人とは、日本国内で住所を有する二十才以上六十才未満の日本国民で会社、工場等の厚生年金、農協、官公庁などの共済組合に加入していない人（但し厚生年金、共済組合に加入している人の配偶者、恩給や遺族年金を受けている人とその配偶者は除く）は加入しなければなりません。

◎任意加入被保険者

加入するとの自由な人とは、二十才以上六十才未満の人で

①会社、官公庁に勤めている人の配偶者。

②恩給、扶助料を受けている人とその配偶者。

③恩給や年金を受ける権利のある人とその配偶者。

④学生（定時制、夜間、洋裁学院、看護学院は除く）は加入することが自由です。

〝改正内容のあらまし〟

こんどの改正は、拠出年金（保険料を支払う年金）の給付額の引き上げ、給付の支給要件の緩和。いわゆる拠出年金関係が主体に改正されました。

◆拠出年金関係

(1)老令年金

夫婦で月に一万円の年金が受けられるようになります。

保険料を二十五年間納めた人の老令年金の額は、年額二万四千円が六万五千円）。

保険料を四十年間納めた人の老令年金の額は、年額四万二千円が九万六千円（月八千円）にそれぞれ引き上げられました。

また、保険料を免除された人たちの年金額もその期間に応じ引き上げられました。例えば四十年間免除を受けた人の年金額は、保険料を納めた人の三分の一、年額三万二千円となります。

(2)障害年金

(イ)年金額の引き上げ

最低保障の二級該当者年金額は、年額二万四千円が六万円に引き上げられました。また、一級の障害に該当する人の加算額年額六千円が一万二千円に引き上げられました。

(ロ)支給対象となる障害の範囲の拡大。

今までは両手や両足がない、手足などが動かない、目が見えないなどという外部障害をはじめ、内部障害では呼吸器疾患、精神病などが、支給の対象となっていたが、同じ腎臓疾患の障害、内臓疾患の障害などは、対象から除外されていました。それがこんどの改正で、こうした障害も対象にとり入れることに改められ、すべての障害が障害年金の対象となりました。

(ハ)事後重症

今までは初めて医者にかかったときから、三年を経過しても治らない障害で、そのときの障害の程度が障害年金を受けられないの程度が障害年金を受けられないの程度がいろいろあるが場合は、その程度が軽くなっても、障害年金は支給されないことになっていました。しかし、こんどの改正であとに障害が重くなり、障害年金が受けられる程度となった場合は、請求すればそのときから年金が支給されることになりました。

(4)遺児年金

遺児年金の額も、老令年金や、障害年金など同じように、二・五倍に引き上げられ、月額千円が二千五百円に引き上げられ同時に身体障害の子の場合の障害の範囲もすべての障害にまで拡げられました。

(5)寡婦年金

寡婦年金の額は、老令年金の金額の算定方法により、計算した額の二分の一に相当する額とされています。その老令年金の算定方法が改正されたので、寡婦年金も増額されることになりました。

○すでに受給中の人の年金額

拠出年金のうち障害年金、母子年金、準母子年金、遺児年金については、昭和三十七年からすでに年金の支給を受けている人がいます。これらの人達には、こんどの改正により、昭和四十二年一月分から引き上げられた年金額が支給されます。

○保険料の引き上げ

老令年金や障害年金などの大巾な年金額の引き上げと、加えて文給要件の緩和などの制度の改正が行なわれました。前にも述べたように、年金の給付はみなさんが納めた保険料と国庫負担金によって年金が支払われる仕組になっています。

そこで保険料についても、相当額の引き上げが必要となり、次のように改正されました。

改正前の保険料

二〇才から三四才まで　月額一〇〇円

三五才から五九才まで　月額一五〇円

改正後の保険料

（昭和四十二年一月分から）

二〇才から三四才まで　月額二〇〇円

三五才から五九才まで　月額二五〇円

（昭和四十四年一月分から）

二〇才から三四才まで　月額二五〇円

三五才から五九才まで　月額三〇〇円

となります。

今回の改正により、年金の給付額が大巾に引き上げられたことは、この制度の内容も充実し、みなさんの老後の保障ができますようになりました。被当する人で加入していない人は、国民年金制度をご理解くださいまして、是非加入していただきたいと思います。

これだけは知っておこう

国民年金の加入者が、自分の権利を守るためには、つねに正しい手続きの方法や内容を知っておく必要があります。

そこで次のような場合には役場に備えつけてある届書にそれぞれの事項を書き入れて、役場の窓口におだしください。

この手続は、本人がなにかの都合でできないとき、または世帯員が全員で住所を変更するようなときは、世帯主が代って届出ることもできます。

○二〇才になったとき、または会社などをやめて他の公的年金から脱退したとき……資格取得届

○希望によって加入するとき……資格取得申出書

○氏名や住所が変ったとき……氏名、住所変更届

○会社などに勤めて、他の公的年金に加入するようになったとき……資格喪失届

○希望によって加入した人が、やめるとき……資格喪失申出書

○加入者が死亡したとき……死亡届

○国民年金手帳を紛失したとき、やぶったり、よごしたりしたとき……国民年金手帳再交付申請書

○保険料免除に該当するとき（法定免除）……保険料免除該当届

○保険料の免除を希望するとき（申請免除）……保険料免除申請書

○年金を受けようとするとき……裁定請求書

○死亡一時金を受けようとするとき……死亡一時金裁定請求書

時効

保険料を納めることを二年間怠ると、納めようとしても、その期間についての保険料は、納められなくなり、あとでいざ老令年金を受けようとするときに、年金をうけるための保険料納入最低年数がたらなくなり年金をもらえなくなるおそれがあります。

また、障害年金、母子年金、遺児年金の共通の改正事項として、拠出要件が緩和されました。

これらの四つの年金を受けるには最低二年間は被保険者であって、保険料を納めていることが必要でした。これは法律の目的の一つとして、国民年金と他の公的年金との間を移動する人に対する国民年金の保障の穴をあけることができません。そこで、とびとびの期間であっても、これを合せると一年間（免除期間のある場合は三年間）保険料を納めておれば、これらの年金が支給されることになりました。

(3)母子・準母子年金

母子年金、準母子年金の額は十八才未満（身体障害者は二十才未満）の子、孫または弟妹が二人以上ある場合には、月額五千円が支給されることになります。

また、孫または弟妹一人のときは、月額千六百円の年金が支給されていましたが、今回の改正で月額四千六百円に引き上げられました。これに従来より二人目以降の子、孫または弟妹が一人増えるごとに、月額四百円が加算されることになりました。

障害年金の支給対象となる障害の範囲の拡大と同じように、身体障害の子、孫または弟妹の場合もすべての障害にまで拡げられました。

(4)遺児年金

遺児年金の額も、老令年金や、障害年金など同じように、二・五倍に引き上げられ、月額千円が二千五百円に引き上げられ同時に身体障害の子の場合の障害の範囲もすべての障害にまで拡げられました。

(5)寡婦年金

寡婦年金の額は、老令年金の金額の算定方法により、計算した額の二分の一に相当する額とされています。その老令年金の算定方法が改正されたので、寡婦年金も増額されることになりました。

○すでに受給中の人の年金額

拠出年金のうち障害年金、母子年金、準母子年金、遺児年金については、昭和三十七年からすでに年金の支給を受けている人がいます。これらの人達には、こんどの改正により、昭和四十二年一月分から引き上げられた年金額が支給されます。

○保険料の引き上げ

老令年金や障害年金などの大巾な年金額の引き上げと、加えて文給要件の緩和などの制度の改正が行なわれました。前にも述べたように、年金の給付はみなさんが納めた保険料と国庫負担金によって年金が支払われる仕組になっています。

そこで保険料についても、相当額の引き上げが必要となり、次のように改正されました。

改正前の保険料

二〇才から三四才まで　月額一〇〇円

三五才から五九才まで　月額一五〇円

改正後の保険料

（昭和四十二年一月分から）

二〇才から三四才まで　月額二〇〇円

三五才から五九才まで　月額二五〇円

（昭和四十四年一月分から）

二〇才から三四才まで　月額二五〇円

三五才から五九才まで　月額三〇〇円

総合診療を受ける部落民

五ケ浜部落民大喜び

全住民に総合へき地診療

県医師会と西蒲原郡医師会は、八月二十五日五ケ浜部落において、全住民を対象に大がかりな総合へき地診療を行ないました。

五ケ浜部落は交通が不便のうえ無医村地域で、週一回巻町立病院からの出張診療があるだけで、日頃あまり近代医学の恩恵を受けていない部落民は、この日診療団が来る事を知って、診療開始一時間ほど前から会場にあたった浦浜小学校に大勢の部落民がおしかけました。

会場に集まった部落民は皆、緊張した面持で順番に、エックス線撮影、検便、検尿、血液検査、眼底撮影、栄養調査など十七部門にわたって検査を受けました。検査を終った人々は緊張した面持も解け、普通これだけの検査を受けたら少なくとも五千円はかかるだろうと聞き、これが無料なんだからと大喜びでした。診療にあたった医師団は、新大太平内科医師を始め医学生、県医師会、地元医師、巻保健所職員、役場職員など総勢五十五人という大部隊でした。

この結果をまとめて地元医師に提供し、実際の診療に役立たせます。

〝眼の見えない人に愛の光〟

巻保健所で開眼検診

「眼の見えない不幸な人たちに愛の光をおくろう」という開眼運動の視聴は全国的に高まり、本県において也関係力面の強い推進運動がなされ、県下各保健所管内で調査と検診が行なわれました。

巻保健所も去る八月二十六日午前九時から新大の岩田助教授ら三人の専門医を招き、開眼検診を実施。管内から四十四名の目の不自由な人が診断を受けられました。このうち手術可能な人は十三名と診断され、白内障患者九名、角膜白斑四名となっています。

また、巻町の検診当番は十八名おり、巻町を受けた人は十三名、手術可能な人は三名となっています。

この検診は四年計画で行なう予定です。また、これと同時にこの運動に理解を深めるため、県では啓蒙普及を図るとともに、アイバンク設立のため関係機関の協力と援助を得て、新潟眼球銀行（仮称）を早急に設立する予定となっています。

巻町老人クラブ会長　笠原俊式

社会に役立つ老人に

敬老の日（九月十五日）が、今年から祝日に加えられた事は私たも老人にとって大変喜ばしい事だと思います。これは、国民全体が老人を大切にしようということをきめられたのですから私たち老人自身もよく反省して、ただ余生を送るだけでなく、社会に役立つ老人にならなければいけないと思います。そこには、体力、能力の可能な限りに老人のできる仕事をやって行く事が一番よいと思います。

たとえば(1)神社の清掃、国民年金の保険料の徴収のお手伝い、子供たちが安心して通行できるように交通安全に協力するなど地域社会に貢献できる仕事がたくさんあると思います。

(2)家庭で老人もできるだけの仕事をして、家族に喜ばれる老人となることが、家庭生活を円満にして行くことと思います。

そこで老人クラブは毎月集まって、話し合いをすることだけでなく婦人会、青年団などと話し合いをする機会を多く持って、若い人の意見、婦人の意見を聞いたり、私たちの多年の経験を若い人たちに話したりしたいと思います。それによって私たちも若返ります。また、お互に理解を深めることができると思います。

町には地区老人クラブが名区、部落毎にあり、その上に巻町老人クラブがあります。月一、二回寄って話しあったり、娯楽をたのしんだりしているのですが、集会場所がなくていつも困っています。巻地区においては神社をお借りするが、あるいは会長宅を利用しているのが現状です。

そこで、老人が寄って一日楽しく過されるゃいこの家〟が巻町に一つ位ほしいと思います。

今年から敬老の日が祝日になり人類がすべて、これを機会に是非老人の福祉施設として〝いこいの家〟をつくってくださるようお願いしたいと思います。

こんなに元気です

十五日は敬老の日

九月十五日は敬老の日です。老人福祉施策である老人福祉法制定三周年目にも当る意義の深い年であるときにの国民の祝日に敬老の日が加えられました。

これは多年にわたって社会に尽してこられた老人を敬愛し、長寿を祝うとともに町民はもとより国民が老人の福祉に関心と理解を深め推進しなければなりません。

町では敬老の日を心からお祝いして、該当者（七十才以上）千二百九人の人たちに記念品として、おわんを差し上げます。

木町の最高長寿者は星野ソメさん（九十二才）一区、山本マスさん（九十二才）松山新田。九十才以上の人は七名おられます。

また、県でも七十五才以上の人に祝慶金差上げます。当町の該当者は六百三十一人です。また、ことし九十才になられた人には、お祝いに座ぶとんを差し上げることになっており、該当者は星野ソイさん（十三区）、竹部カヨさん（安尻）、奥村デツさん（漆山）石崎竹次さん（鵜島）斎藤トヨさん（角田浜）の五名です。

〝敬老の日は家族みんなで楽しい一日を過しましょう〟

今回は敬老の日を迎えるに当って特集しました。この方たちは明治、大正、昭和と三代にわたって社会の荒波にもまれ、あらゆる難事を体験し克服して生きてこられたのです。でも何ってみますとそんな面影はどこにもなく、みなさんとても元気な姿で明るい笑顔で私たちを迎えてくれました。

長寿番付の横綱

星野ソメさん　九十二才（一区）

巻町の横綱星野ソメさん、横綱と言っても土俵上の横綱ではありません。長寿番付の横綱です。星野さんのお宅は、今年から親子二代で敬老会に出席するという長寿一家です。

星野さんは九十二才になるまで、病気一つした事がなかったそうです。

大変元気で、畑仕事なら、自分が一手に引き受けておられるそうです。

昨年までは、年に四回も湯の腰や岩室などへ湯治に行かれたそうですが、今年は、もう友だちがいないので行かれないそうです。「友だちさえいればいつでも行くんだが……」と残念そうにいわれた。

「昔は今どもがって、テレビもないし、ラジオもない家がたくさんありましたが、今はどこのうちにもテレビが入り、家にいながら東京、新潟の様子が手に取るようにわかり、本当に便利になりました。道路だってそうです。今は舗装になり、自動車やオートバイが走っています。自転車乗りもめずらしくないですが、私達の若い頃は、自転車は見るとまずらしくて姿が見えなくなるまで見ていましたよ。」と思い出話しがつきませんでした。

畑にある畑を一手に引受けて野菜をつくっておられます

佐藤庄之助　八十八才（七区）

私たちは幸せです

佐藤さんのお宅をお尋ねしましたら、とても元気な笑顔で私達を迎えてくれました。

「今年から九月十五日が敬老の日になったそうですが。私は少しも知りませんでした。でも国が敬老の日を決めてくれたことは、本当によいことだと思っております。昔、老人は家族の者からあんまり問題にされなかったものです。ところが、今は養老年金などもらえるようになり本当に住みよい世の中になったものです。」と敬老の日のできたことを心から喜んでおられました。

岩崎タマ　八十八才（松野尾）

仕事が一番楽しい

岩崎さんのお宅へ朝早くうかがったのですが、もう畑に出られた後でした。すぐ畑へ行きましたらタマさんは一生懸命に畑の草を取っておられるところでした。

「まだまだ若い者には負けられない」と元気一杯。タマさんは、この年になっても、メガネをかけないで針の穴に糸をとおすそうです。

私たちが農作業の今と昔についてたずねますと「今と昔では、まるっきりちがってきた。第一、田圃に行くのに昔はみんな歩いたもんだが今は自動車になって行き帰りが楽になった。田圃を耕すのは、いちいちクワで耕して、なんぎなもんだったが今は耕耘機がみんなしてくれる。今の農家の人たちは、おちたちのときからみれば楽なもんだ。」といろいろ昔の農業について元気で語ってくださった。

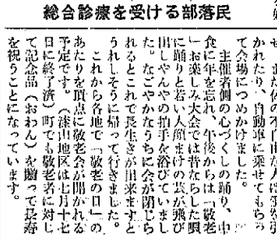
▲私たちがうかがうと、モセさんはお一人で留守番をしておられたモセさんは畑の草取りはもうできないが、屋敷内の草取りは、まだまだ元気でされるそうです。

モセさんは、敬老の日について「九月十五日が誕日になったことは、一年に一度、敬老会が開かれる老会には、いろいろな能し物がもりたくさんあり、友だちと語り合ったりして、本当に一日を楽しく過ごしたことができます。私は、まだまだ死にたくはありません。これからはもっと長生きしたいと思います。」と笑っておられました。

巻町老人クラブ会長　藤田モセ　八十二才（有目）

敬老会が楽しみ

元気で畑の草をとる岩崎さん



四十四名の目の不自由な人たちが検査をうけられた。

巻地区敬老会が九月四日巻地区社協、婦人会、みのり会の主催で巻小体育館で開かれました。

お年よりに楽しい一日

今年度当の年よりは明治三十九年十二月三十一日以前に生れた人で男百七十九人、女三百十五人の合計四百九十四人です。

この中には米寿をおくられた袖山庄治さん（五区）、久須美やすさん（七区）、野村ヨリさん（九区）、石附徳三郎さん（十三区）も含まれています。なお巻地区の最高年令者は一区星野ソメさんの九十二才です。この日を楽しみにしていたお年よりがさそいあわせ、また体の不自由な人は車で引かれたり、自動車に乗せてもらって会場につめかけました。

主催者側の心づくしの踊り、中食に年を忘れ、小夜ふけは昔なつかしい踊りと若い人顔まけの芸が飛び出しやんやの拍手を浴びていました。なごやかなうちに会が閉じられるとこれで長生きが出来ますとうれしそうに帰って行きました。

これから各地で「敬老の日」のあたりを眺点に敬老会が開かれる日に終了済）町でも敬老者に対して記念品（おわん）を贈って長寿を祝うことになっています。

町連合青年団再発足

団長に山賀誠一さん

九月一日午後七時より巻小学校体育館で町連合青年団の発団式が団員百四十人を集めて行なわれました。

連合青年団は昭和三十九年に団活動が行きづまり自然休団の形になっていました。

団長　山賀誠一

連合体の必要性を痛感した各グループ代表者有志によって昨年九月より八回の話し合いが続けられ、公民館のテコ入れもあって再出発にこぎつけたものです。

この青年団の特色は県下の市町村に類を見ない趣味、職業の若人グループが加入したことです。青年団活動の新しいあり方として注目を浴びまたなりゆきを期待されています。

式では先ず、団長に就任した山賀誠一さんが「力強い団結を叫び自分たちの青年団である自覚と責任を持とう」とあいさつ、続いて江端町長、渡辺教育長、樋口公民館長、中村郡連団長（岩室）の来賓がそれぞれの立場で祝福と激励の言葉を述べました。

式後西グループをリーダーにフォークダンス、ゲーム、キャンドルサービスと団員相互の親睦を深めるためレクリエーションを楽しみました。

新役員及び加入団体名、人員は次のとおりです。

団長山賀誠一（松野尾青年団）副団長谷川松夫（理容学級）、藤田スミ（若葉グループ）。若葉グループ（十五人）、竹野町青年団（十六人）、仁箇青年団（十三人）、松野尾青年団（五十一人）、越前浜青年団（三十人）、けんびょうグループ（三十二人）、巻理容青年学級（十五人）、茜グループ（二十三人）、南部青年団（三十人）、漆山青年団（二十六人）の合計十一団体、二百五十八人です。

優良運転者表彰される

九月三日巻小学校体育館において、新潟県交通安全協会および巻地区交通安全協会から優良運転者に、表彰状の授与式が行なわれました。

このたび表彰を受けられた人達は、永年運転業務に従事し、無事故および交通マナーが他の模範となったので表彰されました。

なお表彰状の授与式と同時に開かれた運転者の講習会にも三百人という多数の講習者が集まり、関係者を喜ばせておりました。

新潟県交通安全協会より表彰を受けられた人

◇十五年以上　阿部岩太郎外十二名

◇七年以上　本間利男外二十八名

巻地区交通安全協会より表彰を受けられた人

◇十年以上　斎藤伝平外五十二名

◇五年以上　石森徳治外三十六名

水道に明るい見通し

町では水道事情を良くするため昭和四十年度より五ケ年継続事業として配水管施設拡張、老朽管のとり変えを行なっています。この継続事業が完成しますと配水塔（巻地区のみ）からの給水を全部ポンプ圧送に切り変えることができ各家庭で水道の出がよくなります。

今年はその二年目にあり、次の区間で十月上旬から中旬まで工事を行ないます。期間中、一部で交通の混乱、断水、にごり水が出てご迷惑をおかけするかも知れませんが終了後は水道事情が良くなるということでちょっとの間ご協力をお願いしたいと思います。

なお工事は水倉組が三百四十二万円で落札しました。

▲下宮通り（西浦～東浦）

延長百六十二メートル鋼管を二百五十ミリの石綿管に入れかえます。

▲西浦通り（高校通り～駅通り）

延長三百二十メートル百ミリ鋼管を百二十五ミリの石綿管に入れかえます。

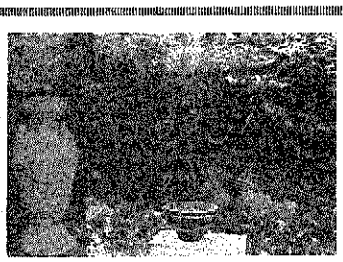
▲駅通り（本町～西浦）

延長八十六メートル百ミリ鋼管を百五十ミリ石綿管に入れかえます。

部落めぐり　(3)

松郷屋焼の陶器

角田山の裾を一本の道路が走っている。昔の北陸街道である。この街道に沿って稲島、伏部、松郷屋、平沢部落がある。その中の松郷屋部落は峰岡迄バスで行き、そこから徒歩で約十分のところにある。この間、芝生がきれいに手入れされた緑一面のゴルフ場を眺めながら、清水が湧きでている平沢部落へ入る。平沢清水は歌に詠まれたほど昔から有名である。そこを過ぎると屋根がところどころに見えてくる。松郷屋部落である。



この部落は終戦直前まで、鉢、瓦、土管などが作られ、松郷屋焼として市場へ売りだされていた。今から一五〇年位前、文化文政年間、三根山藩御用セト職人として、三村為八という人が丸山（地名）に皿、花びん、かめなどの陶器を作っていた。ところが松郷屋に、せと焼によい土があるというので、松郷屋に焼釜をつくった。それが松郷屋釜の発生と言い伝えられている。そこで焼かれたものを松郷屋焼と名付けて売りだした。万延元年（今から百十年前）に阿部勘九郎というせと職人が焼物どっくりを大量につくった。当時、新潟に㊫本間政蔵と㊫近藤源六の両問屋が焼物を製造していた。そのほとんどが北海道に売りさばかれていた。それは焼物の原料となる馬れいしょが北海道に生産されていたためではないかと推測される。そのとっくりを契約してつくったのである。このころが一番活気があった。

せともの焼が盛んになると、その魅力にとりつかれて転業する人が増え、一時は約十軒のせともの屋ができ、活況を呈していた。部落戸数も十七、八軒に増えた。

この中に名人職人が出ていた。弥彦の鳩笛をつくった二村鎌治郎。相馬から伝わってきた兵衛という人がつくり、甚兵衛焼と名付けた。現在でも松郷屋部落に残っている。

やがてそれが昭和初期に入って土管、すり鉢、瓦が主につくられるようになったが、年々生産が減少し、三軒に減ってしまった。それが昭和十七、八年まで続いていたが、終戦直前には自然消滅してしまい、今は釜の後だけが残っている。

昭和三十三年木島、平沢、松郷屋の山林地帯にゴルフ場が建設され、三十八年には煙火工場が平沢と松郷屋部落の中間に建設されるなど農閑期の働き場ができた。

しかし、松郷屋部落から勤めている人はいないようだ。

現在、部落戸数は六戸、非農家一戸、農家五戸うち専業農家二戸、人口四十三人、耕地は六ヘクタールで昭和初期に区画整理をなしとげている。

経営形態は農業と林業を結びつけた経営で内容は安定している部落である。

町内小・中学校児童生徒理科作品巡回展ご案内

各学校では八月下旬から、子ども職員とも全員元気で第二学期を始めました。地域の皆様やご家庭の方々と共々喜びたいと存じます。各学校では日やけしたよい子たちが持ち寄った、休み中の力作をそれぞれ展示する会が催されたことと思います。教育委員会では、管内小、中学校のこれら作品中より優秀な理科作品を五十点ほど集め、公民館二階ホールを会場に去る二日より六日まで、作品展を開催いたしました。

今回次に掲げましたような日程で、これら作品中より移動可能な三十一点を、管内各学校を巡回展示することにいたしました。各地域の皆様、子どもたちの若心の作品をぜひごらんくださるようご案内申し上げます。

—巡回日程—

九月　八日～一〇日　四ッ郷屋小
〃　一三日～一五日　浜松中
〃　一七日～一九日　越前小
〃　二一日～二三日　松野尾小
〃　二六日～二八日　竹野町小
〃　三〇日～十月四日　峰岡中
十月四日～六日　入徳館小
〃　八日～一〇日　浦浜小・中
〃　一三日～一四日　巻小
〃　一六日～一八日　巻中
〃　二〇日～二二日　漆山小
〃　二五日～二七日　漆山中

赤ちゃん・三才児検診

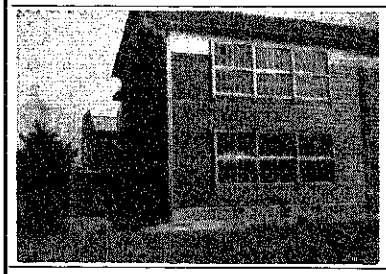
三才児検診が八月二十二日から三十日まで各地区毎に行なわれました。今回の対象者は昭和三十七年十月一日から昭和三十八年四月一日までに生れた百九十九人です。

会場では、はしゃぎまわる子、注射と勘ちがいして泣く子、保健婦の質問に下をむいてダンマリ戦術を行使（?）する子、さまざまな様子が見受けられました。医師、助産婦、保健婦の手で病気の有無、体格が標準を上回っているか、健康で丈夫に育てられているか、知能の発達程度はどうかなどで検診が進められました。

赤ちゃんの部も昭和四十年十月一日から四十一年四月一日までに生れた百九十二人が元気に検診を受けました。町ではこの審査により優良赤ちゃん、三才児を表彰することになっています。

竹小二教室竣工

竹野町小学校の普通教室、理科教室各一室、木造瓦葺二階建がこの程完成し、去る三日午前十時から同体育館に於いて、町議会総務文教委員、教育委員、学区部落区長、PTA関係者多数が出席して竣工式が挙行されました。この増築工事は六月一日から着工され八月十二日に完成したもので、総事業費は三百三十二万円で、水倉組が工事を実施しました。



特別教室は管内小学校で巻小についで二番目で、理科、家庭科の実習室として使用されることになっています。

一分間健康メモ

シャックリの止め方

重い病気や手術のあとにシャックリがきて、なかなか止まらないのは赤信号で医者はひどく気にしています。

しかしふつうのシャックリは、単なる横隔膜のケイレンで、遅かれ早かれ止まりますから、大して気にすることもありません。

できるだけ長く息をつめる、冷水をすする。舌を一、二分間引っぱっている。くびのうしろを冷水か氷で冷やす。みぞくちに枕をつよく押しあてて腹ばいになっている。左右の目を指でつよく奥へ押す。ハナの穴にかんじょうを入れてくしゃみをするなどいろいろやってみます。

でも、いきなりワッとびっくりさせるのは止めたいものです。笑い話ではありません。いれ歯をのみこんでしまった話がありますから。

数え唄

乾燥機使用かぞえ唄

経済課

ひとつとや
ひとり合点で使用して
胴割れヤケ米己が罪。

ふたつとや
ふた目と見られぬ色黒米
火炉やパイプのすきま風

みっつとや
みなみ風なら乾いてる
地風北風湿気風。

よっつとや
夜露朝露みなだめよ
灯油コークス無駄になる

いつつとや
入れた穀から風がたち
紙が舞うほどならば良い

むっつとや
無理な乾燥胴割れおこす
毎時一%を目標に。

ななつとや
生脱乾燥もすのこの下は
三十五度以下忘れずに。

やっつとや
山盛り乾燥はムラ乾まねく
三、四センチで平らかに。

ここのつとや
これで良かろうと火を消す時は
十五%がちょうど良い。

とおとや
途中も見廻り火の用心も
心して出す検査米。

「平和論文」募集

ライオンズクラブ国際協会巻ライオンズクラブ

今回、巻ライオンズクラブでは世界平和を実現させる具体案に関する論文を、町在住の青少年に広く募集し、多くの青少年がこのコンテストに応募されるよう希望しています。

「、世界平和の実現可能な方法を発見する。

一、世界平和の課題へと人々の注目を集中させること。

一、自由ということの真の意義を強調する。

を目的とした「平和は可能である」と題した論文で、コンテストは、各クラブ、地区、各国単位、世界を八ブロックに分けた地域単位、世界単位の五段階で行なわれる。応募〆切りは十一月二十日。最終審査終了は来年七月の予定。

応募資格は一四才～二二才までの若い男女、論文は四〇〇字詰原稿用紙二十枚以内で、巻ライオンズクラブへ提出のこと。世界一位入選者には九百万円、東洋一位には三十六万円の教育費或は職業助成金が授与されます。詳細については巻ライオンズクラブ（郵務局、北洋印刷㈱内）へお問合わせ下さい。

あとがき

◆広報まきも発刊いらい、第十二号を発行する運びとなりました。お手もとに配布された十二号を見て、みなさんもお気づきになられたと思います。広報まきの紙面構成を一部変更しました。

従来、よこの題字をたてに。一段十二字を十五字。また、一面十段組を八段にしました。

今後も読みやすく、親しまれる広報紙作りに努力したいと思います。

◆今号の題字は、書道の大家倉地翠雨先生にお願いしました。先生は、現在七区で書道塾を開かれ、後進の指導にあたられております。

◆明るい、すみよい町づくりに。町への質問や、要望、建設的な意見がありましたら、どんどん企画調査課あてお寄せください。